

冬の旅 (1985)

SANS TOIT NI LOI
VAGABOND

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 106分
初公開日 1991/11/02
公開情報 フランス映画社
リバイバル 2022/11/05 [ザジフィルムズ] (2K修復版)

【キャッチコピー】

少女は、海から来たのかも知れない 少女モナ、18才、冬の旅 プラタナスが死んでゆく 南フランスの冬景色に燃えあがる 青春のさすらい 女性監督アニエス・ヴァルダの 美と映像詩の傑作！

【解説】

実話を基にした、アニエス・ヴァルダ監督作品。少女がひとり、行き倒れて寒さで死んだ。誰に知られる事もなく、共同墓地に葬られた少女モナ。彼女が誰であったのか、それは彼女が死ぬ前の数週間に彼女と出会った人々の証言を聞くほかなかった。そして映画は、バイクの青年たち、ガソリン・スタンドの主人、さすらいの青年ダヴィッド、山にこもって山羊を飼う元学生運動のリーダー、病んで死んでゆくプラタナスを研究する女教授マダム・ランディエなど様々な人々の証言を元に、彼女の軌跡を辿ってゆく……。これは現代社会にとって“自由とは何か”という、これまであまりに語られすぎた、あまりに汚れきった観念を、新しく洗い直し、とことんまで正面から追求しようという姿勢に満ちた作品である。がゆえに、決して夢物語の様な陳腐な形で“自由”というものを扱ってはいない。この現代社会で、真の自由を得ることがいかに難しく、そして過酷な事であるかが、切々と語られているのだ。そして真の自由を得る為に欠くことの出来ない、表裏一体の、“孤独”というものにも、その視点は同等のスポットをあてており、それらを変な感情移入をせず、引いた視点で淡々と描いている。これほどまでに“自由”と“孤独”というものをキチンと描いた映画は他に見た事がない。本作は、公開当時は余りスポットを浴びなかった作品ではあるが、実に素晴らしい、傑作といえる作品である。

【クレジット】

監督	アニエス・ヴァルダ	Agnes Varda
製作	ウーリー・ミルシュタン	Oury Milshtein
脚本	アニエス・ヴァルダ	Agnes Varda
撮影	パトリック・ブロシエ	Patrick Blossier
音楽	ジョアンナ・ブルゾヴィッチ	Joanna Bruzdowicz
出演	サンドリーヌ・ボネール	Sandrine Bonnaire
	マーシャ・メリル	Macha Meril
	ステファン・フレイス	Stephane Freiss
	ヨランド・モロー	Yolande Moreau
	パトリック・レプシンスキー	
	マルト・ジャルニアス	